夕刊
磐城新聞
五月二日發行
定價　一部金五錢　一ケ月金六拾五錢(郵稅五錢)
廣告料金　普通欄(五號十二字詰)一行金六拾錢　特別欄一行金九拾錢(場所指定一行壹圓增)
編輯印刷發行人　磐城郡平町十六番地
發行所　磐城新聞合名會社
電話五六四番
(日曜祭日翌日休刊)

行き詰れる歌人に與ふ

渡邊徹

三

『だが――とある人々は言ふかも知れない――そんな深山で複雜な事がらを歌に盛りあげることは出來るものではない』

よろしい、それならば一首や二首でとゞまらずに十首でも二十首でも歌ひ上げるがよい。否、われ〳〵が本當に自分の實際の生活に突き入つて社會の矛盾を見つめたら、そこから生ずる熱情は、一首や二首で結末を告げれるやうなものであり得う筈はないであらう。二十首でも五十首でもどし〳〵歌ひ上げるべきだ。三十一文字の形式が邪魔だつたらそんなものは刎ねとばしていゝ。さうすればその歌の一首一首が憎しみの坩堝になつて人の胸を赤々と灼きつくすであらう。

寡作を誇るのはブルジョア歌人だけである。それも無理のない、當然なことだ。何故かならば彼等の感情を正しく湧き立たせるやうな矛盾きはまりない資本主義社會の現實と鬪ふとするやうな目を持つことが出來ないからである。またさういふ連中が多作をすると、その歌は技巧だらけの到底人の感情を正しく燃え立たせるやうなものではない。例へば正岡子規や長塚節、佐々木信綱及びその亞流の聯作といふものを見るがいゝ。愚にもつかない一つのものをあつちの方から眺めてみたり、こつちの方からすかして見たりしてひとりで悦に入つてゐるものばかりではないか。

そこへ行くと新興階級の尊物を歪曲して見る必要もない。また正しく評價しても損をすることのないやうな立場に立つ歌人には、歌ふべき多くのものが與へられ、同時にまた、多くのものを正しく歌ふことの出來る革命的熱情も附與されてゐる。この點ではブルジョア歌人とは到底比較出來ない程、歴史的に最も優越した地位に立つてゐる。そこには行き詰りといふものはあり得ない。否あつたところでそれは直ちに克服されより強く鍛え上げられるための試鍊臺の役目をなすものとなる

それにも拘はらず『歌が作れなくなつた』とか『歌をつくつてどうも面白くない』――といつまでも愚圖ついてゐるといふやうなことをするのは、まだ正しく現實を見る目を開いてゐないか、でなければ前進する階級の立場からものを赤裸々に見、凡ゆる資本主義的矛盾と徹底的に鬪ひ、歌ひ進むことの出來る感情が何か不純なものによつて妨げられたことを意味するのだ。

その時はもう一度イロハに立ち戻つて、褌をしめ直して、現實を――自分の生活を――階級鬪爭の上から叩き直してガッシリと資本主義社會の矛盾を見とほしそれらの矛盾のうちの根本的なものと鬪ふための藝術的感情を燃え立たせなければならない。

武藏野

寺本耿一郎

○わが姉の家居めぐりて武藏野の雜木林は色づきにける
○二年を里に歸らざるわが姉は花造りなどして在すなり
○嫁ぎてより幸うすき姉や子を負ひて笑ふもいたく老けし思ひす
○姉が家の二夜の宿りわが母にたのしかりきと告げんと思ふ
○姙(みご)れる姉は子を連れて吾を送る武藏野は今朝霜おきにけり
○安き繪本を買ひやりしかば姉の子はいたく喜ぶいぢらしきかな
○寥きあした姉にひかれて歸り行く姉の幼な子を見つつ別れぬ

早春句

磯上六花

芹つむや風波走る淺き水
枯芝の日溜りぬくし子を卸す
青草を運ぶ田舟や水溫む
軒に來て重たく啼きぬ朶鳥
深々と帽子冠りぬ入學兒

青い灯 (三四)

八幡秋月

『ぢや、左樣なら!』
あや子から離れると祐二はソフトに手をかけて二人に一寸微笑んで首を曲げた
『左樣なら、御靜かに、また來てね』
と玲子
『左樣なら!』
淋しそうにあや子
しとやかに上半身を折り會釋する二人の姿と聲と昨とに送り出された祐二は甘き香りのただよふ春の宵の街に輕やかなステップを踏んで我が家に歸つて行つた

×

櫻が咲いた
そして人達は花見の酒に醉つた――と想ふのも束の間
心の短い春の山風に、櫻花の一片、二片、あはれに散つたとみるまに盛りの過ぎた花は萎み散り失せて、おくれ咲きの八重櫻があどい姿を誇る頃となつた
祐二は其の後二三度ダイガーのドアを押した
あや子の心も春の陽氣の樣に朗かになつて來た
あや子達の戀がいよ〳〵本格に進展してハッピーエンドとなるのも、もうそんなに遠い後の事ではないだつうとダイガーの女達は誰もがそう想つた、あや子自身もそう信じてたし、玲子もそれを疑はなかつた
しかし、その夕
何氣なく夕刊を手にした玲子は
『アラッ!』と想はず叫んだ
冷子の胸は俄かに烈しく高鳴つて目先がクラ〳〵ッと急に暗くなつた樣な氣がした
迫る胸を押へ、押へて微かに震いる手にて、もう一度見直したが見た目に間違いはなかつた『やつぱりそうだわ!』顏は蒼白にひきしまつて來た
いそいで他の二三通りの夕刊を開いてみたが、どれも場所こそ違へ一樣に藤本家の御慶事と題して今日の藤本家の婚儀を報じ、式濟みて後新郎新婦は直ちに夜行にてホネムーンに出發の豫定。と結んであつた
『まア――ア』
玲子は茫然として仕舞つた
――あや子さんが知つたらどんなに驚くだらう。

拈華微笑

◇縣下の庄屋樣ォンパレード、宿へ歸つて德利林立の朗かさ◇
秀峰小田部俳人署長若松へ榮轉　會津の新綠吟情を唆つて甚だ妙◇
町議戰の本壘へ　各區が寄せん會◇
通話止め忘れて　受話機耳へ當て◇
今年も皐月二日　立夏あと四日○……○

亞庭灣に暴風襲來漁夫四十六名死す(昭和五)△日本空輸會社の夜間歸還飛行太刀洗羽田間七時間二十分で成功す△停戰會議の支那代表郭泰祺學生に襲はれ負傷(同七)

社會の今日

○

遠つ人思へは悲し逝く春の、藤波の花ほろほろと散る　佐々木信綱

菖蒲葺く我が軒古りぬ燕鳴く　飛南

高射砲

市川健次

たんぽぽ　たんぽぽ
高射砲
すらりと野みちに並びます
うすいお羽を
ぴからせて
とんぼの飛行機
飛んできた
ぽぽんとうてうて
高射砲
彈は朝つゆ
眞珠いろ
空のお日さま
まばゆくて
たんぽぽたんぽぽ盲うち

5月3日　日　△和田合戰(建保元)△護良親王土窟に幽せらる(建武元)△樺太

講談　劍火無情 (3)

津屋義人作　菅野祐作畫

萬歲の無心(三)

『エ、太夫を差措きまして先づ此才藏めがお客へを致しませう。家業の爲には皷を打つて、ヤッチヤラニコと人を笑はせ、アーラ目出たやで居りまするが、德川家の太平樂はもう天子樣の御罰で破れました。禁裡の式微と朝廷の御威光を薄くし奉つた報ひでござります。將軍家が繁昌する事のみ計つて、百姓町人は倚らしむべし、知らしむべからずでゐた三百年の榮華の夢はあの黑船で破られたのでござります。大道藝人の萬歲も大きく申さば大君の赤子草莽の臣ではございませんか

三河で德川家康公が生れたゆゑ、三河萬歲は德川家の味方汝等は僞萬歲で浮浪の輩と仰有いましたが三河に生れても江戸に住んでも普天の下、卒土の濱、何れ王土にあらざるはなしと申します。私共は三河萬歲でも京の天子樣の味方を致す者でござります』

最前までの諧謔な動作に似ず、キッパリ言ひ切つて主人の顏色を窺つた

此家の主、篠崎賴庵は酔眼を睜り、盃片手に怒氣滿面。

『エ、汚らはしい京の間者德川將軍に楯衝く叛逆人。第一汝等兩人は三河言葉にあらずして下訛り、察する所薩、長、土、肥四藩あたりの脫走者であらう。其座は立たせぬ覺悟せよ』

盃を才藏の面上擧んで投附けるや、傍への大劍引付けた居合腰となつた

才藏は身を轉じた、盃は柱にあたつて微塵、此時萬歲の太夫、大口開いてから〳〵と笑ひ出した

『ウワッハ、ハ、ハ、叛逆人とは何のたわこと、一天萬乘の大君に弓引かば、天地容れざる大罪人。之を誅叛人とこそ言ふべけれ、一將軍に楯衝くは之を臣と臣との爭ひ、叛逆人とは申さんわい』

賴庵は一喝叫んだ

『妙子、叛逆人を斬つて捨てよ』

『心得ました』

次室で答へた賴庵の娘はもう身仕度が出來てゐた。白綾疊んで後はちまき、紫縮緬の襷を綾取り、小褄を高くかゝげて緋と燃ゆる裳を蹴出しつゝ、薙刀の投げ鞘して

『兩人、庭前へ出でよ、其素頭を刎ね上げ呉れん』

椽に廻つて手荒く障子を開け放つた

大紋素袍の大袖の下、いつか隱した一刀、取出しざま立上る萬歲才藏も亦小刀を呑んでゐた

『猪口才なる女の腕立』

『命を投げ出す殊勝さに此才藏が息の根止めて呉れるわ』

妙子と才藏は、椽より飛んで降りた、太夫と此家の主人とは寸秒の隙なく睨み合つた

素より鍔もない白鞘、二尺に足らぬ小劍と六尺塗柄の薙刀。十五六合の戰ひの中、手許に附け入らるれば薙刀の負け、離さて薙立つれば小劍のおくれ、何れか傷つくものと見られた

竹椽の右に賴庵、左に太夫が決鬪の結果如何に、薙刀に引き目あらば父躍り出でん、小劍危しと見れば萬歲切つて出でんの意氣込み

思はずも左右ジリ〳〵くつぬぎ石に片足づゝ下ろした

此時賴庵二度の一喝

『待て娘、待たれよ才藏殿共に白刃を引かつしやれ。お手の內確に見えた、最早萬歲と才藏の御兩所僞物とは存せぬ。まこと正眞正銘の勤王志士、改めて娘をお近づきにはいばんを新たにして一獻差上げたい』

意外な一語、そして意味ありげな主人の態度に才藏妙子は共引に白刃を收めて了つた

主人は聲を落して

『御兩所は勤王の同志を集むる爲の假に姿を變じて江戸市中を窺ひ、大義に叛く痴者は密に斬つて捨てんとする其中に、此賴庵の去就を確かめんと巧に謀つて此家へ入込まれたものであらうな……イヤお隱しあるな、篠崎賴庵では勤王か佐幕か御合點は參るまい。本名明かして御安堵させん』

此時初めて萬歲の太夫は口を切つた

『ようこそ仰せられた。然らば拙者より身許素性を申上げん』

『イヤ〳〵武士は戰場に於ても、先づ己より名乘るが作法……ア・コレ妙子、改めて膳部を……早う〳〵』

磐城名物……
糯米製
北海屋のもち飴
進物用　ボール函入(小函)二十錢　同(大函)三十錢　同　罐入五十錢　同　壹圓
本品ハ消化吸收頗ルヨク病人、産婦、老人、幼兒ニ好適ナル食物タルハ勿論ピクニック、運動、旅行等ニテ疲勞ノ際之ヲ食スレバ直チニ元氣回復スル事妙ナリ。
北海屋製菓部
平町字二丁目　電話三八八番

教員檢定試驗志望者ハ御入會アレ
特ニピアノ及び聲樂ノ研究志望者
音樂教授
一、自作ノ歌詞ニ作曲及伴奏御依賴ニ應ズ
二、其ノ他音樂ニ關スル一般研究ノ御相談ニ應ズ
平町字鍛治町八
蕾音樂研究會

名湯のお知らせ
神經痛。リウマチス。婦人病。其他此ノ名湯ニ一週間以上入浴スレバ全治スルト云フ其ノ効無二ノ礦泉デス、四倉驛ヨリ十町自動車ノ便アリマス。
宿泊料一泊壹圓(三食付)
眺望ノヨイ
礦泉旅館　寅の湯
四倉町新町戸ノ內九

世界に類なき
愛國ミシンの出現
特價一臺金參圓五拾錢
△家庭裁縫の簡易化
一般家庭に於てミシンの便利重寶なる事は皆さんの御承知の通り其の需要を要求して居りましたが從來のミシンは數十圓數百圓の高價の爲一般家庭用として購入出來ませんでしたが今般斯界の大家田島先生の數ケ年の苦心研究によつて斯く大衆向の愛國ミシンが完成され然も突飛的の安價にて從來のミシンと遜色なく便利で各御家庭には必ず常備として一臺なくてはならぬ樣になりました。本機の使用方法は極めて簡單で御子樣方でも三十分位の練習で自由に和洋の御仕立が出來ます。御注文は代引又は前金に願ひます。送料實費)
◎外交員募集
多賀郡石城郡下代理店
平驛前電話三三番
マルカ
店主　加藤正保

外科全般
內科小兒科
醫學博士　渡部義夫
女醫　渡部きい
平町田町大通り(電話二七七)
(入院應需)
渡部外科

新茶賣出し
皆樣お待兼ねの新茶が根本園へまいりました。
呼
平町四丁目
根本園茶舖
電話二二七(呼出)

產科　婦人科　花柳病科
午前宅診　午後往診　入院應需
井阪醫院
平町田町(元合津醫院跡)
電話五五九番

貸切ノ御用命ハ
イツデモ眞先(マッサキ)ニ(松崎(マツサキ)ニ)
三九二(ミクニ)タクシーへ
(デンワ、ミクニ)

父惣吉儀病氣の處療養相叶はず四月二十九日午後六時死去仕候間此段辱知各位に謹告仕候　匆々
追て葬送の儀は五月三日午後二時自宅出棺當村金臺寺に於て佛式により相營み可申候
昭和八年四月三十日
石城郡神谷村鹽
嗣子　中野二郎
親戚　中野一衛
總代　中野清治
　　　井上茂作
友人總代　佐藤久三郎

非常時打開に關する 縣下町村長の大評定

今第一日目の協議事項と被表彰者

縣下町村長會は今二日午前十時から平第三校に開催赤木知事、引田地方課長を始め來賓其他出席四百五十名昨報日程に依り會務報告後優良町村吏員表彰を行ひ左記諸案を協議した

協議事項

一、匡救事業中土木工事測量設計に要する經費に關する件（信夫）

二、町村匡救事業工費の節約に依りて殘餘を生じたる場合は之れを其の町村の他の工事に使用せしめることを其の筋に陳情するものとす（安積）

三、小學校職員の勤務地以外居住を嚴禁することを望む（同）

四、市町村義務教育費國庫負擔法に依る交付金を交付せらるる際は教員並兒童各一人當り金額を同時に通牒せらるる樣取扱はれんことを望む（同）

五、匡救土木工事施行上に關し左の事項を其の筋に要望すること（田村）

六、時局匡救農村振興土木事業に依る縣道路工事施行の結果廢敝地殘地は急速無償拂下をなし本年より耕作地となさしむる樣其筋に請願の件（信夫）

七、農山漁村更生の目的達成の爲め産業技術員を各町村に配置せらるゝことを其の筋に要望すること（伊達）

八、實業補習學校專任教員に對する俸給は全部補助に規程を改正せらるる樣其の筋に建議すること（同）

九、地方行政上に於ける中間機關（郡役所は支廳）設置は自治權の擴充並に行政費の節約上反對するものとす（同）

十、左記事項は既に全國町村長會の決議となり居るものに付極力之か貫徹を期すること（同）

十一、町村公民中諸税滯納處分中にあるものは選擧權を停止するの一項を加へる樣町村制の改正方を其の筋に建議するの件（同）

十二、町村土木匡救事業の勞銀中より町村税滯納金を關係者の生活に支障を生せざる範圍内に於て控除納附せしめ得ることを容認する樣縣に稟議すること（西白河）

北海道東北六縣聯合町村長會提出事項

一、市町村金庫事務を信用組合に取扱はしむる樣主務大臣に建議するの件（石城）

二、公民權の資格要件中に左の事項を加へる樣町村制の改正方を其の筋に建議する件（信夫）

表彰者氏名

信夫郡飯坂町助役髙田貞次郎、同松川村書記丹治一郎、伊達郡月舘町書記伊藤忠道、同山舟生村書記齊藤京藏、安達郡大山村書記齊藤傳作、同白岩村書記佐々木勝巳、安積郡日和田町助役島田熊次郎、同福良村助役武藤一郎、岩瀨郡白江村書記森藤文吾、同大屋村助役星孫一、南會津郡伊南村組合收入役平野美春、北會津郡荒井村書記坂内要藏、耶麻郡喜多方町書記佐藤市次郎、同翁島村收入役古川清一、河沼郡若宮村助役遠藤重男、大沼郡尾岐村東尾岐村組合書記上野眞四郎、東白川郡豐里村書記佐藤光一、西白河郡古關村書記穗積美義、石川郡野木澤村助役圓谷市之助、田村郡大越村收入役久保田耕作、同片曾根村書行中山民次郎、石城郡湯本町書記比佐覺太郎、同入遠野村書記折笠武男、同山田村書記佐川朗、雙葉郡請戸村收入役五十嵐松太郎、相馬郡磯部村助役瀧澤作次郎、同石神村收入役羽根田權

町村長出席

青森の全國大會へ

東北六縣町村長會は四五兩日青森市で開催されるが郡支會からは小野小名濱、木村大浦、鷺植田、沼田内郷四氏が代表出席する

南町で三名公認

齊藤、小松、岡田諸氏を豫選

平町會議員選擧は日一日切迫する、各町内の適材詮衡に所謂自薦候補者の暗躍に逐鹿氣分が漸く本格的領域に入つて來た。昨一日は南町が午後八時から平看護婦會に豫選會を開催、五十三名出席松村鐵郎氏を座長に推し協議の結果委員による詮衡と投票決定の二説に岐れ委員詮衡説が十七名で敗れ連記投票により（二五票）齊藤寅吉（二五票）小松茂（二四票）岡田政次郎（二〇票）大森勇（一九票）青木秀次諸氏を擧げ二十名の委員から得票順で公認三名を推薦諾否を確めた上其の結果により不日更に會合決定する事となつた

十七區では 堀江氏推薦

上京不在の爲未決

十七區（仲間、番匠、鷹匠各町）でも昨一日夜豫選會類似の懇談會を開き適材として吉田鎮政氏が話題に上つたが氏は福島貯蓄銀行支店長の立場上之を辭退したので堀江正茂氏と云ふ事になり目下上京中の同氏に承諾を求むべく照會中である

小田部署長警視昇格

後任は郡山から横山警部

平警察署長小田部秀雄氏は今二日付を以て豫ての風評通り警視に昇格若松署長に補せられ來五日出發赴任する事となつた、後任は郡山署長横山宗延警部で同署長には若松署長大久保富彌警視が据はられた

今夕以後の未納に 通話停止斷行

使用料徴收を焦る平局

金額が多いだけに遲々として成績の上らなかつた平局に於ける今年度第一期分の電話使用料納期は三十日が日曜の爲一日繰り下げた昨一日迄であつたが加入者六百八十八名中納入者五百八十六名で殘百二名の中本日午後四時以後の未納者には通話止めを斷行した

酒井菊雄醫博渡米

けふ横濱出帆のク號で出發

平町醫師酒井國三郎氏の甥に當る東京市保健局衞生課長醫學博士酒井菊雄氏（磐中第十二回生）は今回市から歐米視察を命ぜられ今二日横濱出帆のクーリッヂ號にて渡米の途に就いた

平商通學生

列車關係百廿五名

平商に於ける今年度の汽車通學生は上り七十九名、下り三十九名、磐東七名計百二十五名で各驛別左の如し（上り）綴二一、湯本三三、泉三、植田九、勿來四、關本七、磯原一、高萩一（下り）草野十七、四倉十三、久ノ濱三、廣野四、富岡二（磐東）赤井一、小川六

磐中人國記 二三

赤井嶽男記

第十一回生の卷 H

◇第二回英語講演會

前々回井上貞治郎氏の項で一寸第二回英語講演會の事を引つ張り出したが尚ほ爾餘兩三名にも共通の關係があるので茲に當時の模樣を挿話して置く

０

我が校の英語講演會は去る四十一年天長節を以て呱々の聲を揚げたが四十三年十月八日更に第二回の開會を見るに至つたのは大に喜ぶべき事である。零時半に及んでは講堂に詰めかける者約三百、プログラムに隨つて十一のレシテーションと四のダイアログとは豫定の如く進行し第一回の時よりも數等の進歩を示してゐるのは嬉しかつた

０

何しろ百萬遍も繰り返した丈けあつて壇上に立つて少しも悪びれず、立板に水的の能辯を振ふ演者あれば一方には解りもしないのに一應は諒解したやうな仔細らしい顏つきをした僞善者も御座る、實は僕も其の僞善者の一人であるが更に角其の際得たる赤裸々の印象を曝け出して見やう、敢て云ふ、批評ではない印象だ番組に入るに先ちて滑川先生がOPENING ADDRESSとして例の滑かな川の流れの其れの如き流暢な英語で『プラグラムに就て一言』──云々

０

開會の辭は第一回の節と同じく後の校長滑川教諭である、而も前後十五回中朗誦十一、對話四と云ふプログラムから觀て當日の催しが如何に雛調な突なものであつたか蒸し想像に難からぬものあるが假令ブロークン極るものであつたにせよ口さが無い全校三百の聽衆を前に咳一咳適れ一ばしの英學者を氣取つて洒々平と南蠻鴃舌の怪辯を揮つた勇氣を褒めぬ譯には行かぬ

０

之には六番辯士現縣視學渡邊（舊姓半谷）壽重氏（双葉熊町出身）のTHE BATTLE OF THE SEA OF JAPANや八番遠藤俊一郎氏（江名）のRIP VAN WINKLE。十二番久保木實司氏（湯本）のTHE BLOODY TOWERなど何れもテーマを元氣潑剌たる處に覗つた何人かゞあるが先づ平町在住の意味から最後に眞打格で出てゐる驛前明雲堂眼科院主新妻幸之助氏（久の濱出身）の分を抄錄しやう。

０

15 HONEST, JACOB五甲新妻幸之助、五乙小野口二郎、五甲西牟田又四郎

ダイアログも此の位のものでないと面白味が薄い對話の筋が多少の波瀾を有してゐた故か演者の技倆が拔群なのか更に角表情も現はれて居たし抑揚も不自然なく人形蓄音機が突立つて何か云ひ合ふとは大に毛色を異にしてゐた。

（此項未完）

平三兒童口腔檢查

平第三校では全兒童の八割が蝕齒は冒され保健上憂慮すべき狀態に在るので昨春來齒磨きの實行を督勵して來た結果最近漸く其の効果が現はれて來たので四日午前十時から志賀齒科醫が口腔檢査を行ひ成績を發表する事となつた

第二小學記念講話

第二校では來五日の乳幼兒愛護デーに校長の講話並に宣傳ビラを配布趣旨の徹底に努むる外十五日國際善意日廿七日の海軍記念日にも校長の講話あると

前回より俵四錢騰貴

昨日の米穀共同販賣値だん

平農業倉庫の米穀共同販賣は昨一日午後一時から行つたが出荷五十八俵、四等玄米俵當り八圓十六錢で平町白銀町志賀米穀店に落札した、前回より四錢高である

。。。。。

矢野校長出席　來る十七日より四日間東京で開かれる全國實業學校長會へ

平は斷然商業地

兒童の保護者數から 眺めた町の横顏

平第一校では此程兒童保護者の職業別を調査したが左記の如く商業が最も多數を占めて居る

商五六五、工二五八、農二六、鑛六、交通業一六三、公務自由業二二五、家事使用人二五、其他一五六、（無職）一〇七

。。。。。

江名産組總會　十五日午後一時から小學校で開く

平青訓生六十六名

辛じて入所式に漕ぎつく

戸別訪問や其他の方法で新入生の狩出しに努めた平青訓では辛じて新入生六十六名に漕ぎつけ入所式を擧行するが今年度の指導員及班長は左記八名に決定した

第一班指導員鈴木友己、班長古川新次郎、第二班中野文伍、大和田一二、第三班根本好文、小谷大三、第四班大竹榮一、會川伊豆

三陸の震嘯遭難鮮人

商品を失ひ負傷して歸國途中 役場に旅費を哀願

富山縣中新川郡滑川町朝鮮咸鏡南道利原郡西面生れ李良洙（三五）は本年三月中岩手縣内で時計行商中海嘯で商品を失ひ大怪我をしたので歸郷の途中旅費に困り昨一日平町役場に旅費貸與方を願ひ出た

。。

鼠賊　一昨卅日夜四倉町居住字新町門馬信太郎、同福田町和泉政一郎外數軒から鍋釜其他を窃取せる曲者あり四倉署が犯人嚴探中

決鬪殺人準備公判

曩に福島地方裁判所の陪審公判を辭退した双葉郡廣野村大字淺見川字小松根本卜吉にかゝる決鬪殺人傷害致死罪の準備公判は來る六日午前十時から中島裁判長係で開廷公判の日取を決定すると

長塚疑獄事件

被告兩名控訴

双葉郡長塚村前村長江園榮治（五四）同前助役安井實（四五）の兩名が溜池工事作成に際し縣から五千四十四圓を騙取し過般平支部から辨償を言渡されたが此れが不服なりとして此程大嶺、眞木の兩辯護士を代理人として宮城控訴院へ控訴した

三割が平町の子弟

商校入學生町村別

平商校に於ける今年度新入學生の郡別は石城一〇七、田村、多賀双葉各一で本郡の町村別は左記の如く平町が約三割弱を占めて居る

平町三二、内郷一九、好間一二、草野八、湯本七小名濱五、江名、夏井各四、磐崎、勿來、平窪各二、上遠野、田人、赤井豐間、鹿島、大野、神谷大浦、四倉、大野各一

八名へ罰金

内郷の大賭博

双葉郡浪江町大字權現堂字下柳町五職工大貫利三郎（四三）同町字本城町二鳥行商新田伊六（三三）同女角力興行人田子和二郎（三九）内郷村大字宮石炭商渡邊金藏（五五）浪江町字下綾町十材木商菊地治宵（三四）同大字日渡字内出一一五宿屋桑島安藏（四三）同大字牛海木雇人津田忠吉（三四）同本町三八日雇業鈴木清彌（五〇）の八名は去る二月中安藏方で賭博開帳、和二郎、金藏は八十圓、伊六、清彌は五十圓、利三郎、治宵、安藏、忠吉は三十圓の略式罰金を昨一日竹内判事から言渡された

轢死さわぎ

白痴の午睡と判明

一昨卅日午後四時頃双葉郡龍田村大字井出西原一五猪狩龍雄（三七）が慌しく四倉署に出頭し四倉、久之濱間トンネル内に轢死体ある旨を屆け出たので早速係官が現場に出張して見ると轢死と見たのはトンネル内に寢て居た久之濱町の白痴と判明一同呆然として引返した

清潔法

平町執行日割

平町の春季清潔法施行日割は今二日左の如く決定した

六日─北白銀、仲間町、鎌田、立町堤之内、月見町、大工町南白銀、田町、三、四、五丁目、新川町、南町（平署以東）

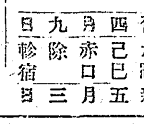
七日─長橋町、研古町、紺屋町、一丁目、二丁目材木町、鍛冶町、南町、久保町、胡摩澤、才槌小路、舊城跡、鐵道官舍、八幡小路、北目町（平署西側）

。溺死。　元平町紺屋町淸水屋旅館女中千葉縣生れ荒井ノブ（二五）は昨一日午後五時頃北目地内夏井川に轉落溺死

平町慶弔錄

△出生　中町一三渡邊清治二女昌子　大工町一七丹野利松二男隆敏　新川町六仙臺市連坊小路榮町二三松崎勝雄長男信道　舊城跡一二内郷村御臺境坂下九二大平義一三男義則

▲死亡　鷹匠町四飯野村谷川瀨吉之作一四須藤龜次郎長女喜代子　幾田町一六伊藤郎富田村鶴澤永作二九氏家豐治（三〇）



舊四月九日　新五月三日　水曜　己巳　赤口　除　軫宿

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神䨇館

▲一白の人　心の動搖を防がざれば人は乘ぜられ易き日▲二黑の人　利得自ら入り來りて思はぬ幸運に惠るべし▲三碧の人　元氣一ぱいに努力すべし企業計畫功果大なり▲四綠の人　他の信用益々加はり財貨自ら集り來る吉日▲五黃の人　がん前の小利を企てんより遠大の計を樹る吉▲六白の人　意外の事より目算外れを生ぜんとす注意日▲七赤の人　利慾に馳せんより德を積むが發達するの基▲八白の人　願望追々と遂げらるゝ氣運なれど商談未熟▲九紫の人　定業を固く守りて勵まるべし旅行移轉亦凶

恩給 年金 即時立替
公社債復興勸業債券高價買入
平町一丁目十四
鈴木重藏

改稱御知らせ
新藤屋（支店別館）改め
鐵道省遞信省御指定
旅館 甲陽館
店主 武田コウ
平町驛前電話一四八番

横濱植木會社の
春蒔き草花種子
がまいりました!!
◎種子は輸出向きの優良質植木會社の特撰品です。
◎◎（草花種子の蒔き方）差上げます
球根、塊根類の御註文もお受けします。
西村屋藥局種子部
二丁目 電三番

合服とレイン.コート
御召替は今です。…………
キツト皆様の御氣に召す1933の春の新製品を豊富に取揃へ陳列して御座ひます。
新柄背廣……12.00ヨリ
黑セル背廣……9.00ヨリ
レイン・コート……9.00ヨリ
バーバリー……3.20ヨリ
トレンチ・コート……5.00ヨリ
ふかや洋服店 平二 電203

難波醫院
内科 小兒科
一平町新川端櫻堤
醫學博士 難波睦
電五〇二
（…入院隨時…）
看護婦募集

江戸前
當店に於て自慢の
大蒲燒 割烹 壽司 開業以來
特に『都壽司』は江戸一流の職人を迎へて食通の皆様方に御賞讃を頂きお蔭様にて大繁昌をいたして居ります。
都壽司は魚榮と御思召して……
御ひゐき下さる樣御願申上げます。
田町 魚榮
電話四二四番